

柏崎市し尿受入施設整備事業について

1 これまでの経緯

- ・平成28(2016)：し尿処理場整備実施計画策定(担当:環境課)→浄化センター敷地内に建設決定
- ・平成30(2018)：し尿受入施設を公共下水道施設として建設することを決定(担当:建設課)
※し尿受入施設が社会資本整備総合交付金の対象事業となったため
- ・令和2(2020)/12/15：産業建設常任委員協議会にて施設概要説明
- ・令和3(2021)：し尿受入施設実施設計業務委託

2 施設の位置・概要

(1) 建設位置

柏崎市安政町1-36(自然環境浄化センター内)

(2) 施設規模

- ・施設規模:44kL/日(し尿3.9kL/日、浄化槽汚泥40.1kL/日)
- ・希釈倍率:18倍
- ・処理方式:前処理、希釈及び公共下水道(水処理系)投入
- ・構造:鉄筋コンクリート造
- ・階数:地下1階、地上3階
- ・建築面積:585.45m²(≒27m×22m) ・延床面積:1,521.09m²

(3) 施設建設・維持管理のポイント

ア 受入し尿は公共下水道の終末処理場(自然環境浄化センター)で処理

- ・し尿受入施設で受け入れたし尿は、希釈し、公共下水道汚水と混和して処理。

イ 臭気対策を重視

- ・近隣町内会からの要望である「臭気対策」については、し尿受入室の開閉部に「エアカーテン」及び開閉速度の速い「スパイラルシャッター」を設置。

ウ し尿等の収集及び建設・維持管理費の負担

- ・し尿、合併浄化槽汚泥は、一般廃棄物であるため、これまでどおり市環境課で収集。
- ・建設費・維持管理費及びし尿等の処理費は、一般会計から下水道事業会計に繰り出して対応。また、一般会計からの繰出金は柏崎市と刈羽村の費用按分とする。

3 事業費：20億円 令和5(2023)～令和6(2024)年度の継続費

<内 訳>

	内 容	金額(百万円)	備 考
①建築・土木工事	土木工事、 建物本体・建築機械・建築電気工事	940	社資本交付対象 (交付率1/2)
②機械工事	ドラムスクリーン、し渣脱水機等の機械及 び設置工事	430	
③電気工事	電気設備工事、浄化センター管理棟 への接続工事	577	交付対象額 19.1億円
④工事監理委託	施工管理、工程管理、品質管理	45	交付金(1/2) 9.55億円
⑤特別単価調査		8	
		合計 20 億円	

※令和2(2020)委員会説明からの変更点

工事費：(H30 概算)約11.4億円 → (R4 詳細設計)約20億円 (約1.75倍)

(理由) ①事業費積算方法の変更

H30(2018)時点：全国的に事例が少ないため、フルプラントの建設実績値×50%で試算

R4(2022)時点：詳細設計に基づき積算

②周辺町内会要望の臭気対策設備を追加(約1.5億円)

③施工上必要な仮設工事等を追加〔仮設道路、土留め(矢板)〕(約1.3億円)

④物価、人件費の高騰 (H30→R4 比:人件費 約1.1倍、鋼材 約1.4倍、燃料 約1.2倍)

4 スケジュール

令和7(2025)年4月1日稼働を目指す

